

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

#### 安全に関する記号 記号の意味

**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

#### 一般情報に関する記号

**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

### <施工の前に>

**警告**

- 門扉は人や車が入り出る場所に設置するものです。使用用途・目的を踏まえた上で必ず安全な場所に設置してください。特に開閉時の扉が公道(道路面)に飛び出さないようにしてください。

**注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 指定寸法は必ず守ってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

### <施工上のご注意>

**注意**

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行ってください。
  - ・作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
  - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行ってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
  - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
- 施工終了後は扉の開閉のチェックを行ない、不具合がないか確認してください。

**ポイント**

- 錠部品は、門扉本体と戸当りの吊り込み・調整後に取付けを行ってください。

## ■ 梱包明細表

### 【1】 錠セット

名称	略図	員数			
		両錠 (標準仕様)	片錠 (標準仕様)	両錠 (両面シリンダー仕様)	片錠 (両面シリンダー仕様)
可動レバーハンドル (道路側)		1	1	1	1
可動レバーハンドル (家側)		1	1	1	1
(道路側)ハンドル台座		1	1	1	1
(家側)ハンドル台座		1	1	1	1
台座カバー		2	2	2	2
LEF-CS錠ケース		1	1	—	—
LAF-CS錠ケース		—	—	1	1
LEF-CS錠フロント		1	1	—	—
LAF-CS錠フロント		—	—	1	1
シリンダー		1	1	—	—
両面用シリンダー		—	—	2	2
セキュリティー サムターンユニット		1	1	—	—
サムターン座		1	1	—	—
サムターンキー (着脱式)		2	2	—	—
エマーゼンシー		1	1	—	—

### 【1】 錠セット (つづき)

名称	略図	員数			
		両錠 (標準仕様)	片錠 (標準仕様)	両錠 (両面シリンダー仕様)	片錠 (両面シリンダー仕様)
キー		3	3	3	3
ストライク		1	1	1	1
トロヨケ		1	—	1	—
片錠受裏板		—	2	—	2
シリンダー固定ピン		—	—	4	4
【1-1】φ4×12 サラタッピンネジ3種		2	2	4	4
【1-2】M4×20ナベ小ネジ		2	2	2	2
【1-3】M5×45トラス小ネジ		2	2	—	—
【1-4】φ4×16 サラタッピンネジ3種		2	—	2	—
【1-5】M4×10サラ小ネジ		—	2	—	2
取付説明書(A502)	—	1	1	1	1
取扱説明書(UA185)	—	1	1	1	1

### 【2】 錠パネルセット

名称	略図	員数	
		錠パネルA (掛・受扉用)	錠パネルB (掛扉用)
錠パネル掛扉用 (L)		1	1
錠パネル掛扉用 (R)		1	1
錠パネル受扉用		2	—

# 1. 各部の名称 ※図はDK型両開き仕様、右勝手内開きを示します。

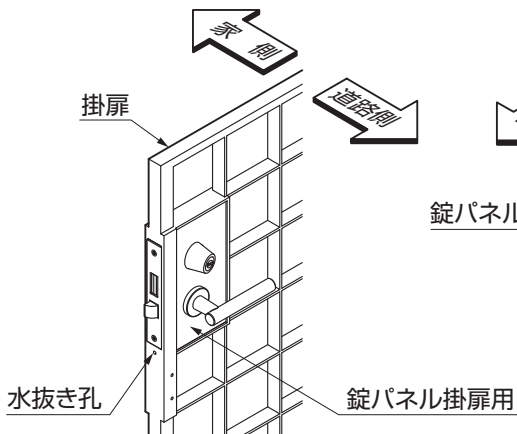


図1-1 掛扉/道路側

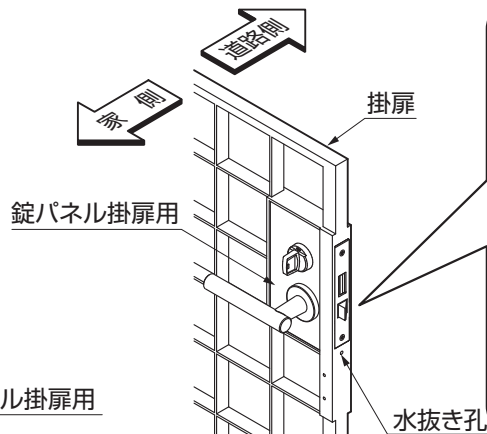


図1-2 掛扉/家側

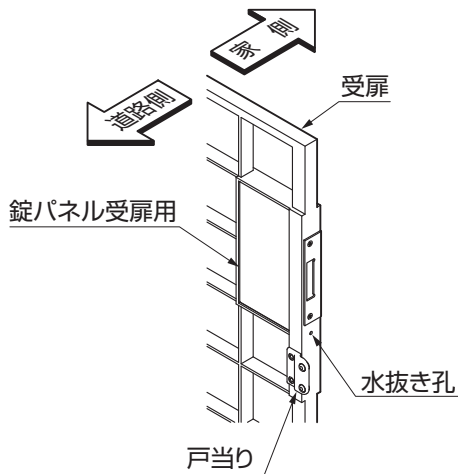
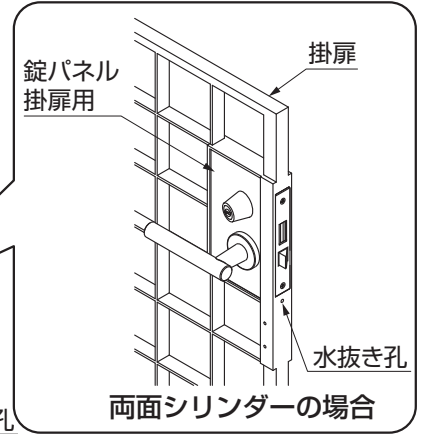


図1-3 受扉/道路側

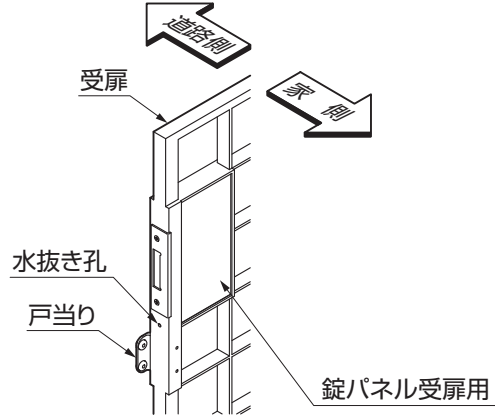


図1-4 受扉/家側

# 2. 掛扉への錠部品の取付け ※図は右勝手内開きを示します。

## 2-1 錠ケースの取付け

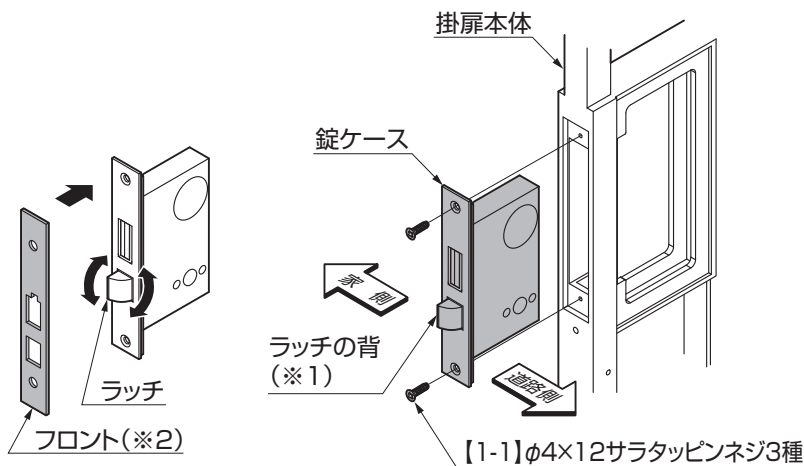


図2-1

①ラッチの背(※1)を家側に向けてください。

### ポイント

●外開きの場合は、ラッチの背(※1)を道路側に向けて取付けてください。(図2-1参照)

②標準仕様の錠のときはフロントを錠ケースに組み合わせて、【1-1】で掛扉にとりつけてください。  
両面シリンダー仕様の場合はフロントをかぶせないで、【1-1】で錠ケースを取り付けてください(※2)。

## 2. (つづき)

### 2-2 錠パネルの取付け

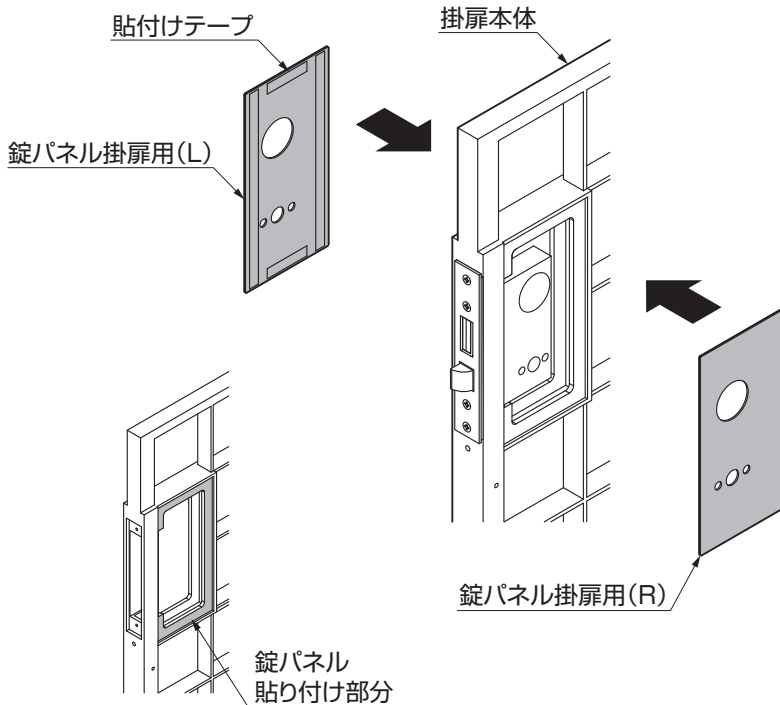


図2-2

①錠パネル(L)、錠パネル(R)の裏側に貼ってあるテープの剥離紙をはがし、錠パネルを掛扉本体に取付けてください。

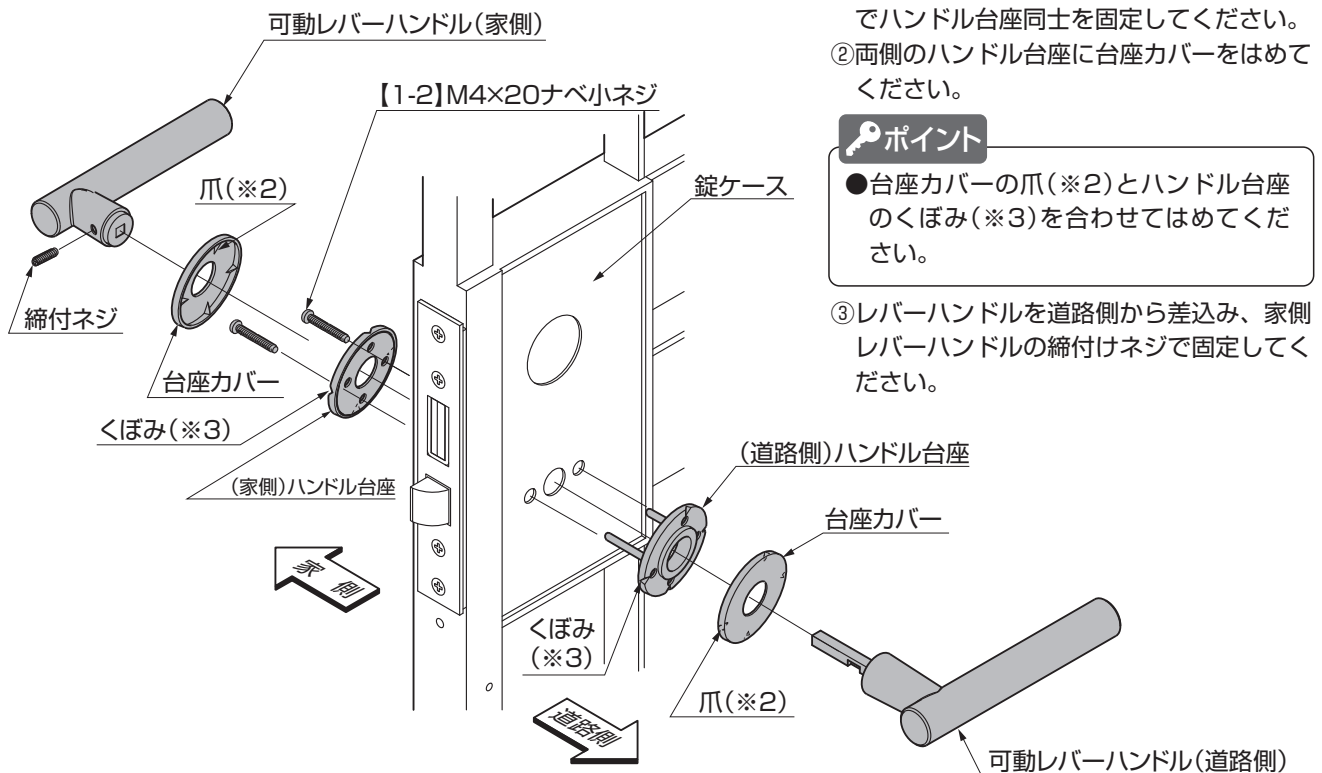
#### ポイント

- 錠パネルを貼り付ける部分に汚れや水分などが無いことを確認してください。汚れや水分などがある場合、テープが貼り付きにくくなります。(図2-2参照)
- 錠パネルの孔位置と錠ケースの孔位置が合うように取付けてください。
- 錠パネルを掛扉本体に取付けた後、錠パネルの全周を親指でしっかりおさえ、テープが貼り付くようにしてください。

#### 補足

- 錠パネルは一度はがすとテープが貼り付かなくなることがあります。
- 錠パネルは、上下のすき間が均等になるように貼付けてください。

### 2-3 可動レバーハンドルの取付け



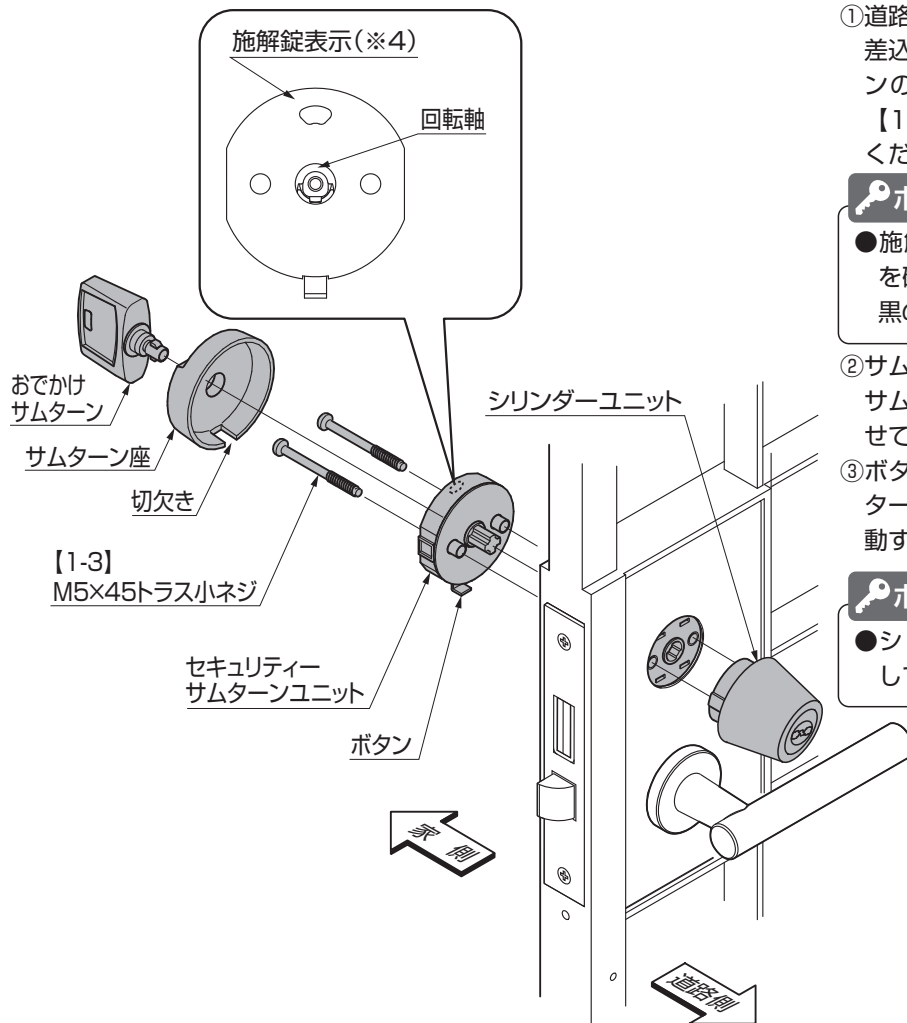
- ①(道路側)ハンドル台座を道路側から差し込み、家側から(家側)ハンドル台座を【1-2】でハンドル台座同士を固定してください。
- ②両側のハンドル台座に台座カバーをはめてください。

#### ポイント

- 台座カバーの爪(※2)とハンドル台座のくぼみ(※3)を合わせてはめてください。

- ③レバーハンドルを道路側から差し込み、家側レバーハンドルの締付けネジで固定してください。

## 2-4 シリンダーの取付け（標準仕様）



- ①道路側からシリンダーユニットを取付穴に差込み、家側からセキュリティサムターンのボタンが下向きになるようにはめ、【1-4】でシリンダーユニットと固定してください。

### ポイント

- 施解錠表示(※4)の色が白であることを確認して取付けてください。黒の場合は回転軸を回して白にします。

- ②サムターン座の切欠きを、セキュリティサムターンユニットのボタンの向きに合わせてはめ込んでください。

- ③ボタンを上を押しながら、おでかけサムターンを差込み、ツマミを回すと鍵錠が作動することを確認してください。

### ポイント

- シリンダー上面シールの文字を上側にして取付けてください。

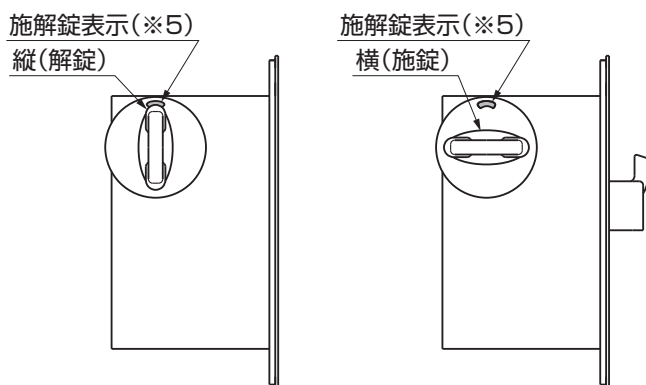


図2-3 サムターンツマミの操作

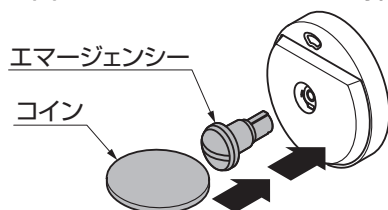


図2-4 エマージェンシーの操作

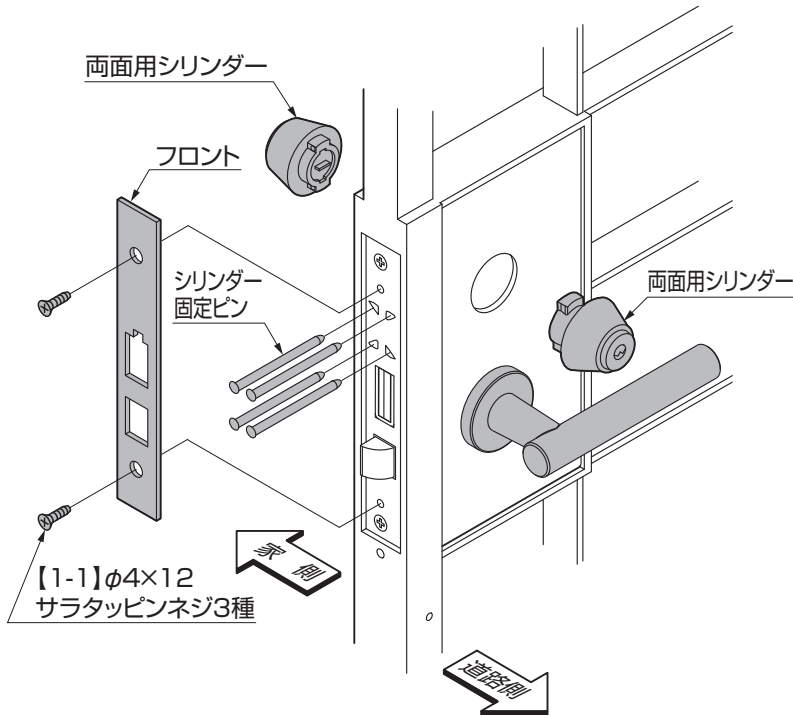
### ポイント

- おでかけサムターンは縦にして取付けてください。
- おでかけサムターンを差込んだ後、ボタンが戻るとおでかけサムターンが抜けなくなります。
- おでかけサムターンのツマミを回すと、施解錠表示(※5)が解錠時「白」、施錠時「黒」になります。(図2-3参照)

- ④エマージェンシーをおでかけサムターンと同様に差込み、コインで回転することを確認してください。(図2-4参照)

## 2. (つづき)

### 2-5 シリンダーの取付け (両面シリンダー仕様)



- ①両面用シリンダーを「MIWA」マーク、または「V」マークを上にしてケースへ挿入し、固定ピンを錠ケースに挿入して固定してください。
- ②【1-1】でフロントを取付けてください。

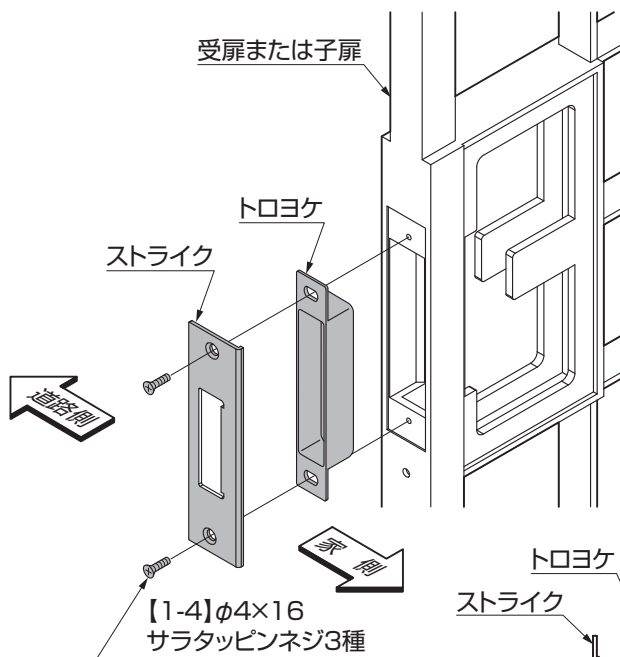
#### ポイント

- 固定ピンは錠ケースに納まるまで差し込んでください。

## 3. 受扉・子扉への錠部品

※図は右勝手内開きを示します。  
※受扉・子扉の作業です。

### 3-1 ストライク・トロヨケの取付け



- ①トロヨケ、ストライクを重ねて、扉のストライク取付穴にはめ込み、【1-4】で取付けてください。

#### ポイント

- 外開きの場合は、ストライクを逆向きに取付けてください。(図3-1参照)

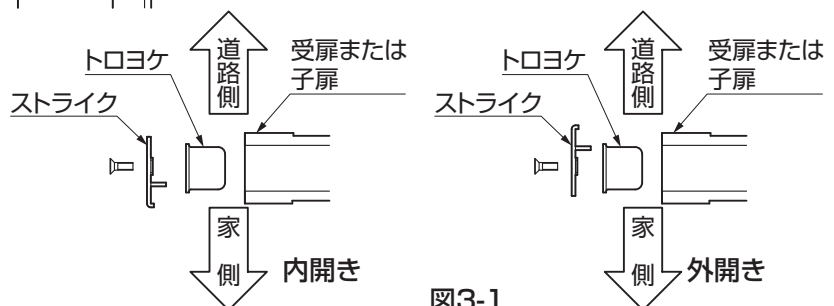


図3-1

### 3-2 錠パネルの取付け

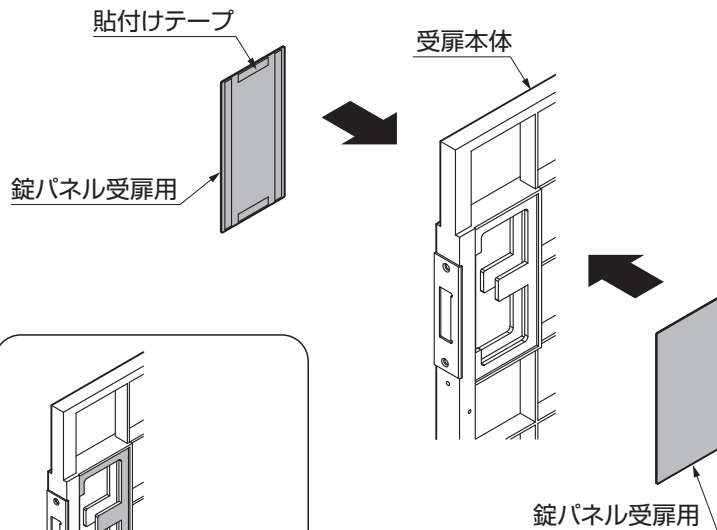


図3-2

- ①錠パネル受扉用の裏側に貼ってあるテープの剥離紙をはがし、錠パネルを受扉本体に取付けてください。

#### ポイント

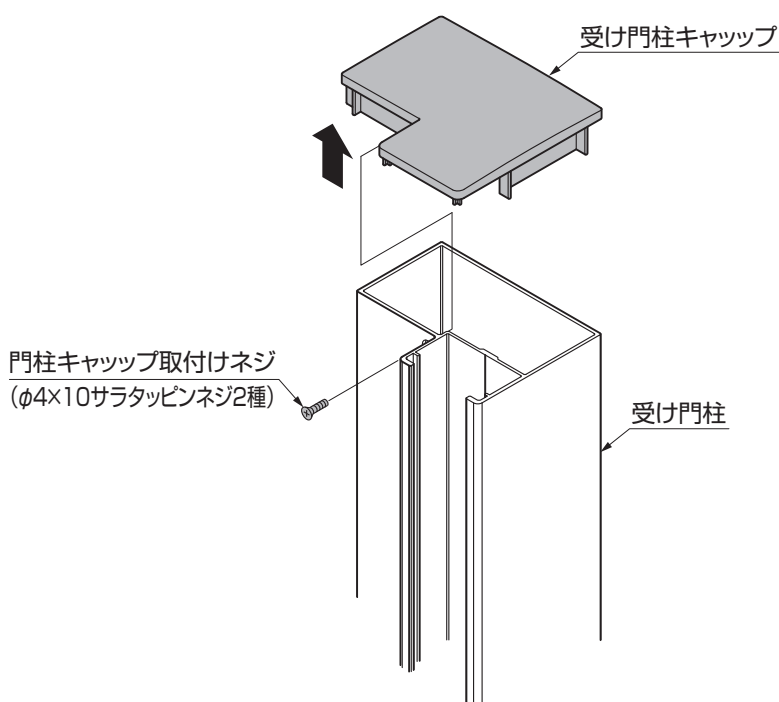
- 錠パネルを貼り付ける部分に汚れや水分などがないことを確認してください。汚れや水分などがある場合、テープが貼り付きにくくなります。(図3-2参照)
- 錠パネルを受扉本体に取付けた後、錠パネルの全周を親指でしっかりおさえ、テープが貼り付くようにしてください。

#### 補足

- 錠パネルは一度はがすとテープが貼り付かなくなることがあります。
- 錠パネルは、上下のすき間が均等になるように貼付けてください。

## 4. 受け門柱への錠部品 ※図は片開きの場合の作業です。

### 4-1 受け門柱キャップの取外し



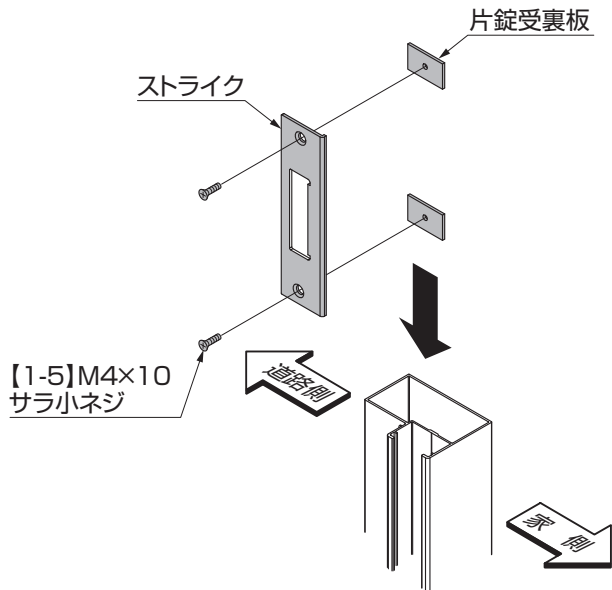
- ①門柱キャップ取付ネジを取外して、受け門柱キャップを上方へ外してください。

#### 補足

- 門柱キャップは「4-2 ストライク、トロヨケの取付け」後に元のとおりに取り付けを行なってください。

## 4. (つづき)

### 4-2 ストライクの取付け



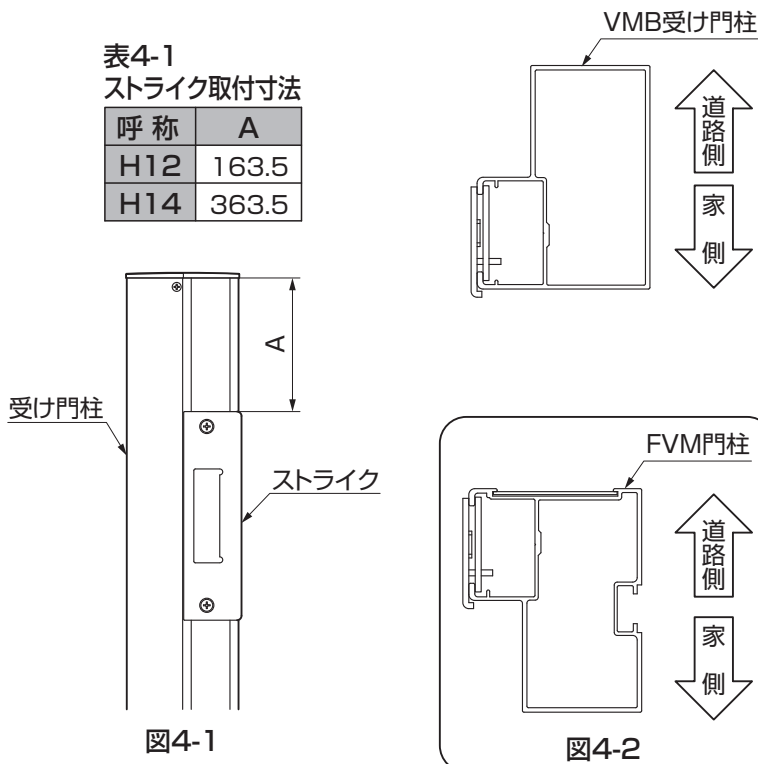
- ① ストライク、片錠受裏板を【1-5】で仮組みし、受け門柱の溝にスライドして挿入します。
- ② 【1-5】を締めて、ストライクを固定してください。(表4-1参照)

#### ポイント

- 門扉前面と門柱前面を揃える納まりの場合は、図4-2を参照してください。

表4-1  
ストライク取付寸法

呼称	A
H12	163.5
H14	363.5



取説コード

**A502**

JZZ620326C  
201001A\_1042  
201607D\_1049